



今年度の学校研究の取組み

今年度の学校研究のテーマは「つなげよう！今と未来！自分を見つめ、主体的に自分を高めようとする生徒の育成～すべての教育活動を通して育むキャリア教育」です。

主権者教育、プログラミング教育など「〇〇教育」という言葉が流行の教育界ですが、「キャリア教育」は、社会的・職業的自立にむけて、基礎となる能力や態度を育てる教育を意味しています。中学校の使命は、義務教育の最終期間を受け持ち、社会に出る力を育てること



です。ですから、「キャリア教育」といっても新しく特別なことをするわけではなく、社会に出ることをより意識して、必要とする力をつける教育とっていただければいいでしょう。今年度の学校の合言葉「自立の日のために」もまさにこのキャリア教育を意識したものです。

この学校研究でつきたい力と達成のための具体的取組みは以下の表のとおりです。

つきたい力	達成のための具体的取組み
① 自分と社会を結びつけ将来像を描くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○進路適正診断テスト（5月） ○職業と進学先、職業と資格のつながりの研究（総合的な学習、学級活動） ○職場体験学習（総合的な学習）
② 自分の資質・能力に関心を持ち、その向上に向けて取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で課題を設定して学習に取り組む態度の育成（教科学習、総合的な学習、ステップテスト） ○家庭学習3時間クリア ○資格試験への挑戦（英語検定受験） ○部活動での自己記録の向上、自己管理能力の育成
③ 周囲の人と良好に関わりながらも、己の意思を持ち、伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の行事に参加し、自分の役割を果たす。 ○鳥海八幡中学校との交流で切磋琢磨の意味を体感する。 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動（大会時） ・学校訪問（8月下旬、運動会参加） ○中学生海外派遣事業「はばたき」（11月上旬）への参加により、初対面の相手でも心を開いて関わる力をつける。 <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカデラウェア市での交流 ・派遣団員相互の交流

飛島で義務教育を終えた子どもは、進学あるいは就職で飛島を出て行きます。いずれの場合も、一般の同年代の少年よりも早く自立します。この研究を通じて、進路選択にあたり、消去法的な選択ではなく、自分を理解し、将来像を思い描き、今の学校生活と将来を結びつけ、自らを高めようとする前向きな生徒に育てたいと考えています。

授業参観・PTA総会 ありがとうございました

4月23日(日)今年度最初の授業参観とPTA総会、学級懇談会を行いました。

授業参観は太田先生の英語でした。2年生になり英語の学習も難しくなってきました。参観していたご両親も、参観に加わった職員も「あーそうだった。過去形のbe動詞ってwasとかwereだったよなー。」と若かりし頃の記憶をたどっていました。



地域の一員として

昨年から例大祭の太鼓デビューを果たした新君。今年は例大祭翌日に、長らく中村地区の太鼓を叩いてきた進藤吾一さんからさらにご指導をいただきました。二人の太鼓の音色を聞き比べると、新君の太鼓はストレートな音色で、吾一さんの太鼓の音色は、新君よりも余韻が少し長く感じられました。(私の主観です。)

このように、手をとってご指導いただける機会があるのも飛島ならではのです。地区の伝統を引き継ぐ若者の意識がまた高まったことと思います。



日	曜	こと	が	ら
1	月	生徒	検	診日
2	火	振替	休	業日(4/22分)
3	水	憲法	記	念日
4	木	みど	り	の日 県通信陸上
5	金	こ	ど	もの日
6	土			
7	日			
8	月	職員	会	議
9	火			
10	水			
11	木	壮	行	式
12	金			
13	土			
14	日	光	ヶ	丘陸上
15	月			
16	火			
17	水			
18	木			
19	金			
20	土			
21	日			
22	月	市	教	育研
23	火	部	活	停
24	水	貧	血、	尿、
25	木	中	間	テ
26	金			
27	土			
28	日			
29	月	体	力	ア
30	火			
31	水	読	み	聞